

哲学散歩

—公共する霊性の哲学対話を新たに始める—



ガイド: **金 泰昌**先生
(公共する哲学をともにする会)

2015年日程

第1回 5月 2日(土) ~ 5日(火)
第2回 8月 13日(木) ~ 16日(日)
第3回 10月 2日(金) ~ 5日(月)

哲学散歩へのお誘い

—いのち輝く哲学の森と一緒に哲学散歩をしてみませんか—

散歩とは「気晴らしや健康のために、ぶらぶら歩くこと」(『広辞苑』)です。朝の散歩に出るのもよいでしょう。しかし、たまには日常定住の場所から離れて、物静かな森の中を気をゆるめて歩いてみるのはいかがでしょうか。普段は自分自身の・自分の家族の・自分の隣人・仲間のことに気を配ることに精一杯でしょう。

しかし、しっとりした森の中で、そよかぜに吹かれるままに足を運んでいると、からだところとたましいがあらいきよめられるのを実体験できます。身心魂のはたらきが活性化されるのです。

ここで「生命」の実相をきちんと捉え直す必要があります。「生」とは個体生命、そして「命」とは宇宙生命のことです。「生」が「命」によって開新し躍動するようになるのが「活命」です。活命のはたらきによって、生はより生き生きするようになり、光り輝きます。いきいきと生きることが本当の健康の有り様だとすれば、「いのち輝く」ことこそが望ましい幸福の真相なのであります。「生」と「命」の両方を実現するためには、「活命」を随時充填することが不可欠です。日日新又日新(日々に新たに、また日に新たなり)の生活が活命と相関連動することが人間生命の大本であるからです。

しかし今日に至るまで、わたしたちは生存・生活・

生業につながる「生」にだけ執着し、活「命」のことに無感覚・無関心で過ごしてきました。それはガソリンを補給しないで車を動かしているようなものです。果たしていつまで動いているでしょう。遠からず車は動かなくなり、機能のすべてが停止します。

活命は、一人ひとりが個々別々にするよりは活命連帯を組む方がはるかに効果的で相乗効果が上がります。森の中で身・心・魂を洗浄して活身・活心・活魂の充実をはかり、自然の中に響きわたる天籟を聴き取り、それを自分の独り占めで終わらせるのではなく他者(自然、見知らぬ人々、始めて出会う人々)とのともいき(共生)にい(活)かすという哲学が、今こそ日本と世界に必要なのです。

三日間の活命相生(あなたとわたしがともに活命して相互の生を生き生きさせる)の哲学散歩に参加してみませんか？

これはハウツータイプのものではありません。

- 自由で活発で真摯なともいき(共息=共活)語りです。
- 一日三回(朝・昼・晩)、30分間の自由散歩
- 散歩のあと、一日三回(朝・昼・晩)の哲学対話
- これを3日間繰り返します

ガイド 金 泰昌(公共する哲学をともにする会)

主催・申込み・問い合わせ 公益財団法人いのちの森文化財団

〒380-0888 長野県長野市飯綱高原2471-2198

TEL 026-239-0010 FAX 026-239-0011

e-mail zaidan@inochinomori.or.jp URL <http://inochinomori.or.jp>

後援 未来共創新聞

会場・宿泊 信州飯綱高原 心と体といのちのセンター いのちの森「水輪」

TEL 026-239-2630 FAX 026-239-2736 e-mail suirin@suirin.com

URL <http://www.suirin.com>

Facebook <https://www.facebook.com/inochinomori.suirin>

いのちの森プロジェクト



金 泰昌 (キム・テチャン)

一九三四年、忠清北道出身。主な日本語著書に『共福の思想』(GEC出版、同新版)、『公共哲学』全二十巻(東京大学出版会)の編者。各巻の表題は①「公と私の思想史」②「公と私の社会科学」③「日本における公と私」④「欧米における公と私」⑤「国家と人間と公共性」⑥「経済から見た公私問題」⑦「中間集団が開く公共性」⑧「科学技術と公共性」⑨「地球環境と公共性」⑩「21世紀公共哲学の地平」。⑪～⑳巻は各々「自治」「法律」「都市」「リーダーシップ」「文化と芸能」「宗教」「知識人」「組織・経営」「健康・医療」「世代間関係」から「考える公共性」。『物語論』(全三巻)、『公共する人間』(全五巻)、『公共哲学を語りあう』(ともに公共哲学する)(いずれも同出版会)ほか多数。

3万5千坪の森の中に10棟の宿泊施設が点在しています

会場:いのちの森水輪

いのちの森の大自然のエネルギーは、心と体を癒し、自然治癒力を高めます。隣接する水輪ナチュラルファーム自然農園では農薬や化学肥料を一切使用せずお野菜を作り、環境と健康に配慮した農法を行っています。大切に保護された自然は、やどりぎや銀竜草など高山植物、また山野草の宝庫です。館内寝具類は清潔を保ち、施設には和紙の照明、建物は天然木の檜や杉材を使用することで、人工的な建材によって遮断されることなく大自然のもつ澄んだ空気を、存分に味わうことができます。厳選された無添加の食材・調味料、無農薬野菜などを使った心のこもった美味しい食事は、心身をリフレッシュしてくれます。

1日目(5/2)	哲学散歩(1) 2日目(5/3)	哲学散歩(2) 3日目(5/4)	哲学散歩(3) 4日目最終日(5/5)	後泊(5/6)	・連続して集中的に3日間 学びます。 ・4日目の最終日に夜遅く帰れない方はお泊りいただけます。 ・早朝樹林気功、禅瞑想、ヒーリングが常時行われています。 ・前泊、後泊の予約受けます。 ・予定は変更になる場合があります ・哲学散歩の内容は(1)(2)(3)と推移していきます。
13:00 集合 乗合ジャボタクシー 長野駅東口方面 1Fエレベーター前 14:00 水輪着、受付 リノベーション 15:00 散歩・内観 17:00 入浴 18:00 夕食・懇親会 自己紹介 20:30 禅瞑想	8:30 朝の散歩 9:00 哲学対話 10:00 朝食 11:00 昼の散歩 11:30 哲学対話 13:30 ティータイム 14:00 午後の散歩 14:30 哲学対話 16:00 入浴 18:00 夕食・懇親会	8:30 朝の散歩 9:00 哲学対話 10:00 朝食 11:00 昼の散歩 11:30 哲学対話 13:30 ティータイム 14:00 午後の散歩 14:30 哲学対話 16:00 入浴 18:00 夕食・懇親会	8:30 朝の散歩 9:00 哲学対話 10:00 朝食 11:00 昼の散歩 11:30 哲学対話 13:30 ティータイム 14:00 午後の散歩 14:30 哲学対話 16:00 入浴 18:00 夕食・懇親会	8:00 樹林気功 9:00 禅瞑想 10:00 朝食 11:00 ヒーリングミュージック 12:00 解散	

参加要項

● 会場 長野県信州飯綱高原 心と体といのちのセンター「水輪」

● と き 2015年 第1回5月2日(土)～5日(火) 第2回8月13日(木)～16日(月) 第3回10月2日(金)～5日(火)

● 参加費 全日程68,000円(税込)(3泊4日通し参加費) 日程の部分参加可能

(宿泊、会場、講師謝礼、夕朝食、ティータイム、懇親会、全て含む費用。アルコール代別途)

- A {
- ①5月2日(土)～5日(火)(全日程参加費3泊4日)68,000円(税込)/63,000円(税抜)
 - ②5月2日(土)～3日(日)(1泊2日部分参加費)25,000円(税込)/23,150円(税抜)
 - ③5月3日(日)～5日(火)(2泊3日部分参加費)65,000円(税込)/60,200円(税抜)
 - ④5月3日(日)～4日(月)(1泊2日部分参加費)35,000円(税込)/32,400円(税抜)
 - ⑤5月4日(月)～5日(火)(1泊2日部分参加費)35,000円(税込)/32,400円(税抜)
 - ⑥5月5日(火)～6日(水)(1泊2日の延泊料)25,000円(税込)/23,150円(税抜)
 - ⑦5月4日(月)夜のみ宿泊 15,000円(税込)/13,900円(税抜)

B — ⑧希望の方には乗合ジャボタクシーを手配します。(片道1,100円、往復2,200円)

● お申込後、一週間以内に参加費をお振込ください。前泊・延泊可。

● 振込先 参加費振込確認後、順次正式受け付けとなります。4月上旬に詳細資料をお送りいたします。

◎みずほ銀行 長野支店(普)1991794 公益財団法人いのちの森文化財団

◎ゆうちょ銀行(口座番号)00520-3-42181 (加入者)公益財団法人いのちの森文化財団

*尚キャンセルの場合、参加費の返金は致しませんので御了承下さい。(代理参加可能です。)

*男女別の相部屋。個室を希望の場合別途料金になります。一泊5,000円～6,500円。

*カーナビ検索する場合は水織音(みおりね)(026-239-3908)で検索。

「水輪」へのアクセス

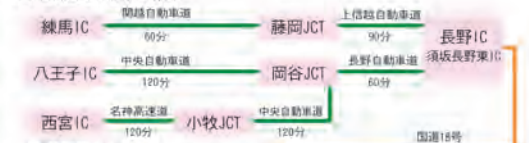
東京～水輪まで89分の速さ

ジャボタクシーが5/2 PM13:00 長野駅東口
1Fエレベーター前で待っています

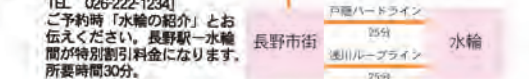
■ JRご利用の場合



■ 自動車ご利用の場合



■ 長野観光タクシー



哲学散歩 申込み書

*①メール②TEL③FAX④郵送のいずれかでお申し込みください。

*必要事項をご記入下さい。該当項目に○印

①e-mail zaidan@inochinomori.or.jp

②TEL 026-239-0010 ③FAX 026-239-0011

氏名 _____ 男 女 年齢 _____ ご職業 _____ e-mail _____ 申込日 _____ 月 _____ 日 _____

〒 _____ 住所 _____ TEL _____ FAX _____ 携帯 _____

■第1回 5月 日～ 5月 日参加 ■第2回 8月 日～ 8月 日参加 ■第3回 10月 日～10月 日参加

総合計記入例 A-①(68,000円)(税込)+⑦(15,000円)(税込)+B-⑧(「行き」/「帰り」/「往復」)(2,200円)(税込)= 総計85,200円

総合計 A- () (円)(税込)+ () (円)(税込)+ B- (8) (「行き」/「帰り」/「往復」) () (円)(税込)= 総計 円

S振込先 (ゆうちょ銀行 みずほ銀行) 振込日 月 日 (振込済み 振込予定)

◎お申し込みのきっかけ ちらし 紹介: 紹介者 () インターネット 新聞・雑誌 ()